

B-6) 中一高度悪性群・悪性リンパ腫に対する bi-weekly CHOP 療法及び末梢血幹細胞移植併用大量化学療法

山田 聡志・張 高明
村井 政子・渡辺 卓也 (新潟県立がんセン)
林 直樹 (ター病院内科)

悪性リンパ腫の標準治療である CHOP 療法を早期に G-SCF を併用して 2 週間隔で実施し、その忍容性および治療効果、さらに末梢血幹細胞動員能を検討した。70 才未満の初発の非ホジキンリンパ腫で、十分な臓器機能を保持している症例を対象とした。CHOP 療法は原法を 2 週間隔で実施し、終了後末梢白血球数が 10,000/ μ l 以上となった時点で末梢血幹細胞を採取・凍結保存した。1994. 6 月～1995. 8 月に 12 例が登録され、12 例に対して合計 77 コースの CHOP 療法を実施した。白血球減少のため 5 コースで 1 週間の遅延、肝機能障害のため 1 コースで 1 週間の遅延を来した。12 例中 10 例が CR に導入され、3 例で末梢血幹細胞を採取し、2 例で末梢血幹細胞移植併用大量化学療法を実施し、安全に終了した。G-CSF 早期併用により CHOP 療法が 2 週間隔で安全に実施可能であり、奏成功率は 92% と良好であった。また十分な末梢血幹細胞採取が可能であり、今後、予後不良群の治療として期待できる。

B-7) Aggressive NHL に対する最近の治療戦略

張 高明・林 直樹 (新潟県立がんセン)
ター病院内科

組織学的に中～高度悪性群に属する非ホジキンリンパ腫 (以下 aggressive NHL) は化学療法や放射線治療に対する感受性が高く、標準治療によって 80% 以上の高い奏成功率が得られる。しかしながら、その 5 年生存率は 30～40% であり、半数以上の症例は再発を繰り返して長期生存不可能である。この点を打破すべく、第一世代化学療法である CHOP を超える第二、第三世代の併用化学療法が開発されてきたが、SWOG/ECOG の大規模な比較試験の結果では奏成功率、5 年生存率ともに有意差なく、改めて aggressive NHL に対する新たな治療戦略の開発が切望される。近年、risk factor 数から NHL の予後を予測可能な International Index の概念が導入され、各 risk group 別の治療方針決定が重要視されている。最近、予後不良群に対する有効性が確立されてきた造血幹細胞移植併用大量化学療法の適応と実施状況を含め、当院における aggressive NHL に対する治療

戦略および今後の展望を総括する。

B-8) 診断に苦慮した胃 MALT リンパ腫の 1 例

五十嵐健太郎・何 汝朝
坪井 康紀・畑 耕治郎 (新潟市民病院)
月岡 恵・市井吉三郎 (消化器科)
藍沢 修 (同 外科)
渋谷 宏行 (同 病理)

【症例】51 歳、男性。【現病歴】平成 2 年 8 月より、胃潰瘍にて当院に通院していた。胃前庭部から胃角部に潰瘍が多発し、H₂ blocker では open ulcer となり、オメプラールに変更すると scar となる傾向にあった。平成 7 年 7 月 5 日、ガスター投与中の内視鏡にて、これまでと部位が異なり、体下部より胃角部小弯に潰瘍が多発し、周囲に発赤調の顆粒状粘膜があり、肉眼的に表層拡大型の悪性リンパ腫を疑った。しかし、生検は group I であった。ガスター内服のまま、7 月 24 日、再検したところ、肉眼所見はほぼ同様で、生検にて異型リンパ球を指摘されたが、悪性リンパ腫とは断定できなかった。オメプラールに変更後も、改善傾向はなかった。臨床経過より、胃悪性リンパ腫を疑い、9 月 13 日胃亜全摘術を施行した。切除標本にて、sm 浸潤を示す MALT リンパ腫と診断された。胃リンパ腫の診断に関し興味ある症例と考え、提示する。

B-9) 高悪性度リンパ腫成分を伴った胃原発 MALT リンパ腫の 1 例

石原 法子 (済生会新潟第二)
病院病理
石川 直樹・小山 覚
太田 宏信・吉田 俊明
上村 朝輝 (同 内科)
川口 正樹・相場 哲朗 (同 外科)
石崎 悦郎 (同 外科)
武田 敬子 (同 放射線科)

胃の Mucosa-associated lymphoid tissue lymphoma (MALT リンパ腫) には、低悪性度型と高悪性度型、およびその並存型が存在することが明かにされた。演者らは、高悪性度成分と低悪性度成分を有する MALT リンパ腫の 1 例を経験したので、病理所見について報告する。

症例は、22 才女性。平成 7 年 7 月上腹部痛にて某医で胃生検の結果胃悪性リンパ腫と診断され、当院に入院した。当院での胃内視鏡検査では前庭部に多発 IIc 様病